

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月26日

事業所名 すこやか教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		①ブレイルーム・個別訓練室・感覚統合スペースなどは十分に確保してあり適切である	
	2	職員の配置数は適切である	5			①配置数は適切であるが利用者様の対応に不安を感じる時は市役所に応援を依頼している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		①設備は整ってバリアフリー化で活動しやすい ②文字やイラスト写真等を用いて構造化している ③活動するスペース（あそび、勉強、運動）を明確にしている 入室できない箇所はX印で示す ④スケジュールを使い視覚支援を行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		①日々の掃除に加え週末は業者の清掃も実施。物品の破損の有無を随時チェックしている②業者による教室の床のワックスがけとエアコンフィルターの掃除を実施（年2回） ③定期的に消毒、換気等を行い活動に合わせた机や椅子等の配置を考え活動しやすいスペースを確保出来るようにしている	①活動や個人に合わせた動きの制限になる様バーション使用を長さの調節を行い工夫している②利用者様の怪我がありコーナガードを取り付け再発防止に努めている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		①終礼で必ず振り返りをしているので業務改善につながっていると思う	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		①保護者様の評価を踏まえ職員間で問題点を話し合い改善すべき点は行っている	①改善する点は改善しこちらの主旨がきちんと伝わっていない場合は保護者様と十分に話し合いを持つように努めている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		①保護者様の意向を共通理解するためにホームページを確認し改善する ②保護者様にプリントで渡す	①職員間で会議をし質の向上に努め対応できるところは改善。市のホームページに毎年更新し公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		①外部評価は必要だと考えているが至っていない現状である
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		①家庭の事情で日程が合わず受講できなかった	①機会があればオンライン研修を受講していきたい②教室に来て頂いているPT・OT・STの講師からその日の子ども様の問題点を聞き対応策を探る事が出来るのは大変勉強になります
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		①保護者様からのニーズを踏まえ職員全員参加で個別支援計画にまつわる策定会議を行っている ②個別支援計画作成に係る策定会議を行いそれに基づき作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		①職員全員が参加する会議で意見交換をすることでガイドラインに沿った計画になっているか確認する	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		①担当者による立案を職員全員参加の支援会議で検討している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		①新しい教材を取り入れ内容に変化を持たせるように工夫している	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		①年齢、状況に応じ特性を踏まえ作成している ②職員間でプログラム作成を回し変化を持たせる		

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月26日

事業所名 すこやか教室

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		①毎日の朝礼で必ず確認している ②ミーティングの時間を設けている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		①終礼で良かった所、気になる点を出し合い改善点を考える ②随時気になった事を話しスタッフ間で共通理解できるようにしている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		①個人記録に毎回記録を残している 特記事項は個別支援計画に記載している ②療育日誌に毎日記録している	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		①計画の見直しを行いスタッフ間でも話し合いをし改善や修正をしている	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		①児童発達支援管理責任者が出席している	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		①3歳児精密検査には必要に応じ児発管が同席している 電話による連携も取れている	①関係機関も共有できる一覧表があれば経過も追いやいやすいと思う
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5		①今年度は重度の方は在籍されておりません	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5		①今年度は重度の方は在籍されておりません	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		①入園される時は園に向いて行き子どもさんの状況を伝える様にしている	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		①ご要望があれば児童発達支援管理責任者が参加するようにしている	①早めに「就学のできき」を配布し就学に向けての準備に備えてもらう ②サポートブックの配布も早めに配布し他の市町の方にもカウンターに置いている見本をお見せし居住地の役所を案内している
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		①事業所訪問や電話でのやり取りで情報を共有し連携している	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		①教室としては残念ながら交流時間を確保している訳ではないが隣接している子育て支援センターの利用はされている
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5		①自発管が参加し内容を伝達するようにしている	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		①週1回の利用者様が多いので1週間の体調や園での様子、気になった点などを聞くように努めている②母子通園のため保護者様との話は密に出来ていると思う	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5		①家でできる事を促し必要であれば支援カード使用を提案し自宅でも活用する様に話す ②県の研修（ペアレント・トレーニングの案内）を掲示板に貼り周知して動めている	

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月26日

事業所名 すこやか教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		①契約時に一通り説明を行い質問があれば答えるようにして負担金に関しては福祉の窓口で説明を受けてもらう	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		①個別支援計画について説明をし理解して頂き同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		①母子通園なので来室された時には担当職員はじめ誰かが声かけて自宅や保育園他の事業所での様子を聞くようにしている ②相談内容を共有することで多面的な意見を提供できるように心がけている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		①感染症流行になり行事（全員参加）の実施が難しくなったので曜日ごとに顔合わせも兼ねりフレッシュ（茶話会）の時間を取るようにした（年3～4回） ②母子分離で保護者様対象でヨガインストラクターを招きヨガ体験の時間を作り心身ともにリフレッシュしてもらっている（年3回） ③茶話会などを企画し母子分離で保護者同士の情報交換やゲームができるようにしている ④父親や祖父母の参加も好評である	①茶話会で親しくなられ情報交換が行われるようになった②3回ある内の1回のヨガは親子で実施することが出来て楽しめた
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		①その日で適切なやり方が伝えられる時には伝え職員で話し合う時間が必要な時は次回まで待つてもらっている ②相談や申入れがあった場合は職員間で話し合いすくに対応出来るようにする ③日頃より困っている事や児様の相談事には適宜応じている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		①月1回お便りを発行している ②毎月のお便りや掲示板にて対応している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		①鍵のかかるキャビネットに保管している ②秘密情報の保持に関する契約書を職員に書いてもらい日頃より守秘義務に関する注意を促している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		①スケジュールに沿った視覚支援や指さしや目の動きなどで判断するなど選択の方法を工夫している	①必要に応じ個室を使用し相談を受ける
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	①残念ながら地域住民と関わる活動は行っていない	①当教室が市民交流プラザにあり子育て支援センターも隣接しているので地域の方と顔なじみになり挨拶などは交わしている
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		①火事を想定した訓練は定期的に行っている ②親子一緒に非常階段の確認をしながら実施している ③避難経路に沿って親子で階段を下りたり標識、AED等の確認を行う	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		①訓練や防災週間に合わせ備品の点検を実施するようにしている②市民交流プラザの建物全体の訓練、教室独自の消防訓練を実施している	①防災頭巾を実際に親子で体験してもらい訓練する
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		①保護者様から契約時の聞き取りの時に聞くようにしている②入室時のフェイスシートに服薬等の記入依頼しチェックをしている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		①保護者様を通じてしている ②聞き取り時に有無を確認し行事前に再度聞き取りしている(医師の指示書はない)	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		①全員がいる場所で共有しその日のうちに整理するようにしている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		①虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会を実施し保護者様、鹿島市相談員様他参加頂く ②同日に県より出前講座（障がい者虐待防止対策について）講義を受ける	①利用者様への言葉遣いや身体的な関わりを丁寧に日頃から職員間でも意識をして接している ②県による障害者虐待防止法出前講座を保護者様の代表者に参加頂き実施する グループワークで勉強する
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		①保護者様へ契約時に虐待の定義について触れ入口の施設について同意を得ている ③記載に加えて対応した時に必要に応じて詳しい説明をするように心がけている	